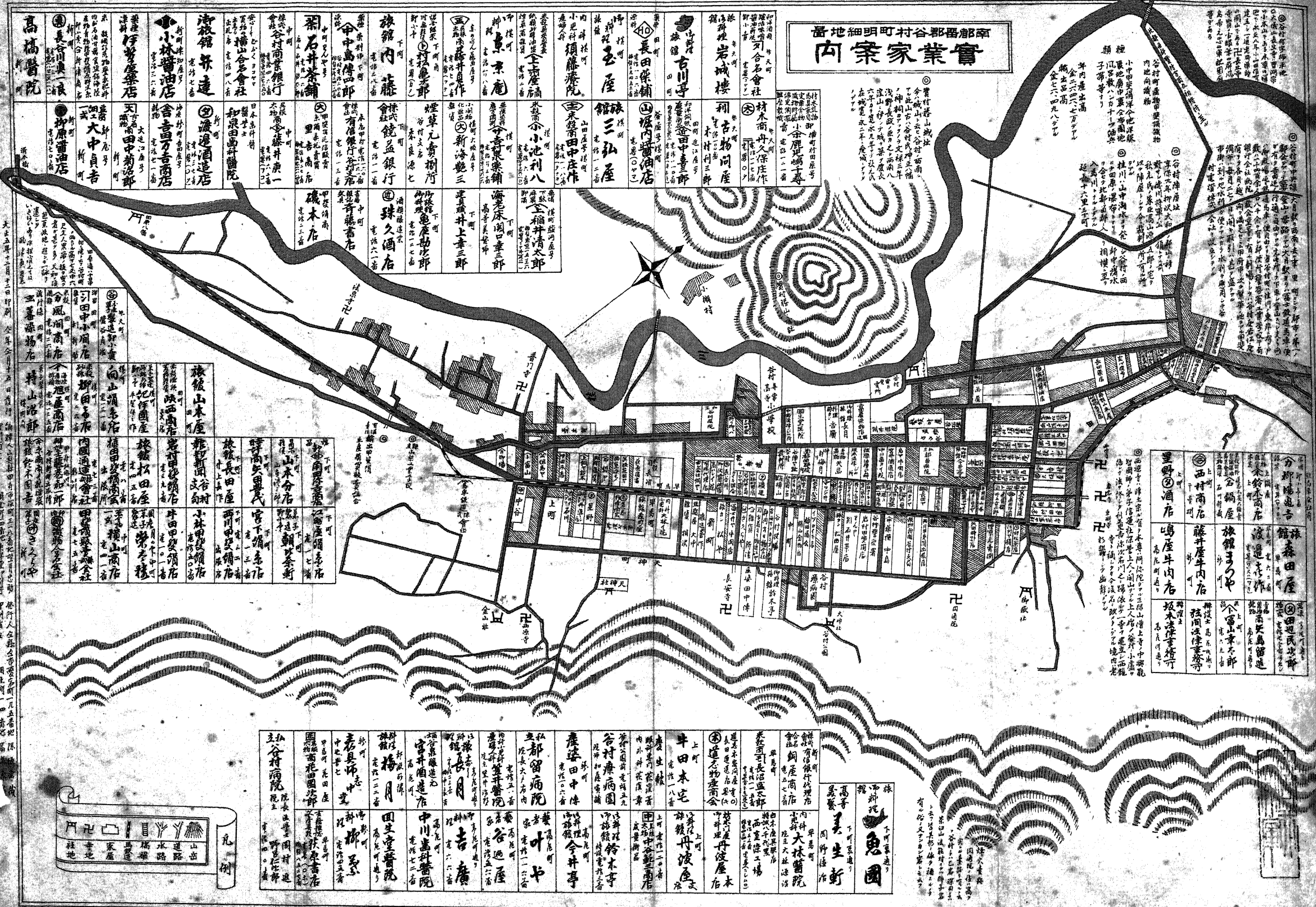


市の機関

明治33年再版「大日本管轄分地図山梨県管内全図」より

南都留郡谷村町地圖
實業家案内



高橋醫院
長谷川真一
小川實業店
小林實業店
清波館
和泉田中藥店
合吉方吉商店
渡邊酒造店
大和中興
中野實業店

谷村町立小學校
谷村町立中學校
谷村町立女子學校
谷村町立幼稚園
谷村町立公民館
谷村町立圖書館
谷村町立體育場
谷村町立公園
谷村町立神社
谷村町立墓地

實業家案内
谷村町立小學校
谷村町立中學校
谷村町立女子學校
谷村町立幼稚園
谷村町立公民館
谷村町立圖書館
谷村町立體育場
谷村町立公園
谷村町立神社
谷村町立墓地

谷村町立小學校
谷村町立中學校
谷村町立女子學校
谷村町立幼稚園
谷村町立公民館
谷村町立圖書館
谷村町立體育場
谷村町立公園
谷村町立神社
谷村町立墓地

高橋醫院
長谷川真一
小川實業店
小林實業店
清波館
和泉田中藥店
合吉方吉商店
渡邊酒造店
大和中興
中野實業店

谷村町立小學校
谷村町立中學校
谷村町立女子學校
谷村町立幼稚園
谷村町立公民館
谷村町立圖書館
谷村町立體育場
谷村町立公園
谷村町立神社
谷村町立墓地

實業家案内
谷村町立小學校
谷村町立中學校
谷村町立女子學校
谷村町立幼稚園
谷村町立公民館
谷村町立圖書館
谷村町立體育場
谷村町立公園
谷村町立神社
谷村町立墓地

谷村町立小學校
谷村町立中學校
谷村町立女子學校
谷村町立幼稚園
谷村町立公民館
谷村町立圖書館
谷村町立體育場
谷村町立公園
谷村町立神社
谷村町立墓地

高橋醫院
長谷川真一
小川實業店
小林實業店
清波館
和泉田中藥店
合吉方吉商店
渡邊酒造店
大和中興
中野實業店

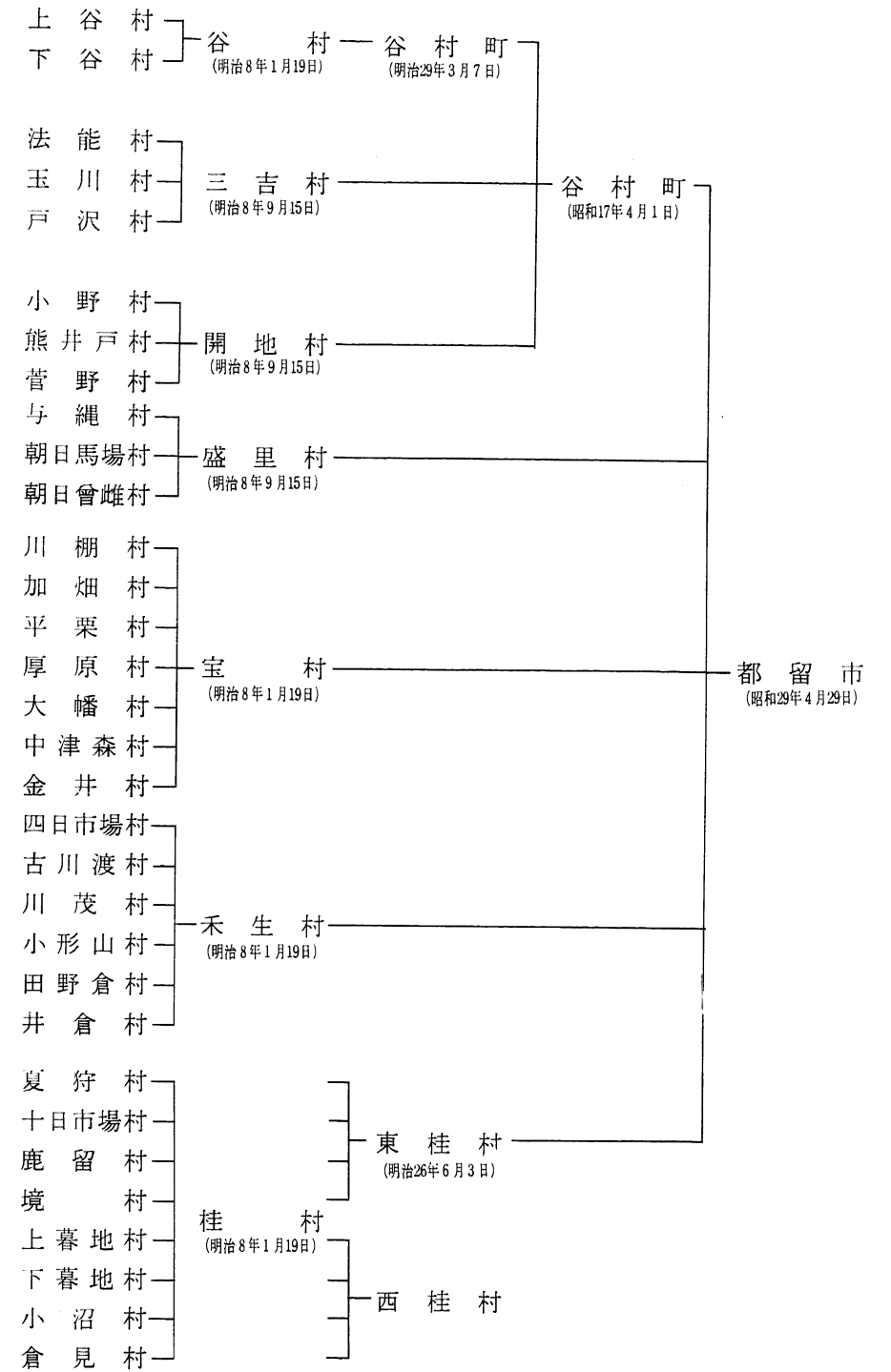
谷村町立小學校
谷村町立中學校
谷村町立女子學校
谷村町立幼稚園
谷村町立公民館
谷村町立圖書館
谷村町立體育場
谷村町立公園
谷村町立神社
谷村町立墓地

實業家案内
谷村町立小學校
谷村町立中學校
谷村町立女子學校
谷村町立幼稚園
谷村町立公民館
谷村町立圖書館
谷村町立體育場
谷村町立公園
谷村町立神社
谷村町立墓地

谷村町立小學校
谷村町立中學校
谷村町立女子學校
谷村町立幼稚園
谷村町立公民館
谷村町立圖書館
谷村町立體育場
谷村町立公園
谷村町立神社
谷村町立墓地

南都留郡谷村町地圖，昭和十一年發行（宮井致三氏所藏）

町村合併変遷図



市の機関

都留市役所

(都留市上谷二丁目一の一)

(谷村町役場)

郡中会所として下谷三番戸(現在の大手吉田屋商店隣接地道路)に横三間、堅八間半、三十六坪の建物があった。上谷村役所は始め役所を長安寺に設け、その後新町の旧警察署敷地内にあった建物(後の谷村活版所)を役場としたといわれている。

明治8年1月19日 上下谷村が合併して谷村となり村役場を大手に設置

明治22年8月 郡役所庁舎の改築に当り、払下げをうけ郡中会所を改築して庁舎とする。

建築した役場庁舎

本館 木造鉄板葺二階西洋造(間口三間三尺、奥行七間)

建坪四八坪

倉庫 木造瓦葺二階建(間口三間、奥行二間) 十二坪

使丁部屋 木造平屋建(間口二間三尺、奥行一間半)

三、七五坪

物置 木造平屋建(間口一間半、奥行一間) 一、五坪

明治29年3月7日 町制を施行し谷村町役場となる。

大正11年5月 庁舎が狭溢のため隣家河口孝の宅地、屋

敷を買収し庁舎とする。

昭和3年2月3日 庁舎建設起工式を挙行

昭和3年8月19日 谷村町庁舎を下谷二四四番地、二四五番地に竣工し移転、事務を開始

「庁舎建築中の事務は、昭和3年1月から上谷一八八番地長谷川英一郎所有の建物(現在秋山浦吉家屋)及び三の丸発電所を借入れて執務した。」

旧庁舎は、昭和二年十二月議会において議決を経て競売した競売した庁舎

木造鉄板葺二階建 建坪二四、五坪

使丁室 三、二五坪

渡り廊下 三、九坪

便所 一、四五八坪

外囲延長 七五間

同所二四四番地にある建物

木造三階建瓦葺 建坪三七、〇坪

表庇 二、二五坪

南方庇 二、七一坪

裏方庇 五、〇坪

炊事場 三、五八坪

便所浴室 四、二五坪

外囲延長 八間

新築庁舎

役場敷地 下谷二四四番地一五五坪

三吉村役場

明治8年9月15日

法能、玉川、戸沢村を合併し、三吉村と改称し、玉川村牛田八郎宅に村役場を設け戸長を置く。

その後林照院に移した。

明治18年

隣村開地、盛里村を合併し、三吉村外二か村の連合村と改称して戸長役場を三吉村(住吉四八八番地、現在の法能遺跡附近)に置く。

明治22年7月

市町村制実施とともに盛里村は独立して三吉村、開地村を組合村とし三吉村外一か村組合役場を三吉村(生出神社前の敷地)に設ける。

明治32年6月

両村分立し三吉村役場となり、法能地内字宮代芳一一六一番地(専徳寺前の学校設置地内)に置く。庁舎二階建(二八坪)谷村町と合併する。

昭和17年4月1日

開地村役場

明治8年9月15日

小野村、熊井戸村、菅野村が合併して開地村となり、役場を大津賀次郎宅の隠居屋敷を仮用して置く。

明治18年

隣地三吉、盛里村と合併して三吉外二か

下谷二四五番地一〇五坪

鉄網コンクリート造スレート葺三階建

六七、〇五坪

正面車寄 一、〇六坪

使丁室及物置 一二、〇坪

土間廊下 六、八八坪

便所 三、三三坪

職業紹介所庁舎

鉄網コンクリート造スレート葺二階建

三三、〇坪

昭和17年4月1日 三吉村、開地村が合併

昭和29年4月29日 都留市制を施行「都留市役所庁舎」となる。

昭和32年5月31日 都留市役所分室(旧丸甲株式会社社屋)の改修工事が完成

昭和42年3月9日 新庁舎建設起工式を挙行する。

昭和43年5月23日 落成式を挙行

事業費総額 二億四千万円

建物規模 鉄筋コンクリート四階建

塔屋三階付

敷地面積 六、三〇〇平方メートル

建築面積 一、二六九、九九六平方メートル

建物の高さ 二三、三〇メートル

明治22年7月
市町村制実施とともに三吉村外一か村
組合村となり役場を三吉村に置く。

明治32年6月
三吉村と分立して村役場を菅野熊井戸三
番地の家屋を買収し庁舎とする。

明治39年10月15日
開地村菅野熊井戸三番の家屋を買収す
る。

木造板葺二階建(間口六間、奥行四間半)
二十七坪

昭和13年
庁舎腐朽につき菅野熊井戸二六八番地に
新庁舎を建築移築

木造鉄板葺二階建(間口四間半、奥行七
間)三十一坪五合

昭和17年4月1日
谷村町と合併

盛里出張所 (盛里村役場)

明治8年9月15日

与繩村、朝日馬場村、朝日會雌村が合併
し盛里村となる。

明治18年

隣村開地村、三吉村と合併して三吉村外
二カ村の連合村と改称、役場を三吉村に
置く。

明治22年7月

市町村制実施に伴い独立し石船神社神樂
堂を仮用して村役場とする。

大正14年5月

朝日馬場三〇九の一番地(現在地四四七

、四五坪)に村庁舎を新築

庁舎 木造トタン葺二階建 三一、七五坪

倉庫 木造トタン葺二階建 六坪

昭和29年4月29日
合併して都留市となり盛里支所となる。

昭和42年12月1日
盛里出張所と改称して現在に至る。

禾生出張所 (禾生村役場)

明治8年1月19日

四日市場、古川渡、川茂、小形山、田野
倉、井倉の各村が合併して禾生村となり

役場を古川渡五五四、五五五番併地に

建築、明治八年より同九年に至るまで禾

生村事務所と称し、同十年より同十七年

まで禾生村役場、十七年より同二十二年

まで禾生村戸長役場と称し、明治二十二

年七月一日禾生村役場となる。

明治23年7月20日

新庁舎を五五四、四五五番併地(二三

一坪)に建築する

庁舎 木造亜鉛葺平家建(桁行六間、梁

行五間 三〇坪

付属建物
玄関(二坪) 物置(一五坪)

職員控所、使丁室(一〇坪)

印刷所(四坪) 炭部屋便所(二、五坪)

廊下を増築

明治26年11月15日

昭和42年12月1日
宝出張所と改称し現在に至る。

東桂出張所 (東桂村役場)

明治8年1月19日

上暮地、下暮地、小沼、倉見、境、夏狩、
十日市場、鹿留各村を合併して桂村とな

り、役場を小沼に置く。

桂村が東西に分村して旧夏狩、十日市場

鹿留、境各村で東桂村となり、以来役場

は宝鏡寺内に置かれた。

四部落の小学校を合併し、現在の校地へ移

転新築することになり、同時に役場も現在

の桂町へ移して校舎の移築、新築の監督

をするため、日野出屋(現藤江藤太宅の

下)の家を借りて移った。

校舎内の校長住宅へ移り、その年の十月

学校の落成式を行うにあたって再び日の

出屋方へ移った。

現在地(十月市場一、一六六の一)へ新

築完成(予算一千三五〇円)

合併して都留市となり東桂支所となる。

東桂出張所と改称

同所在地に農村環境改善センターを建設

出張所を併用し現在に至る。

宝出張所 (宝村役場)

明治8年1月19日

川棚、加畑、平栗、厚原、大幡、中津森
金井の各村を合併して宝村となり、金井

江西院(現在なし)を仮用して役場とする

中津森七一八の一番地(現在地)に庁舎

を新築(平家)

二階建に増築

合併して都留市となり

宝支所となる。

都留市立都留文科大學

(都留市田原三丁目八の一)

(山梨県立臨時教員養成所)

昭和28年4月1日 都留市上谷二六四番地 (旧谷村高等学校)において開校(定員五十名、一年制)

昭和28年6月29日 文部省より小学校教員養成機関として指定される。

校地総数 二、四三三坪

校舎総数 六七一坪

図書冊数 五、七八〇冊

昭和31年3月31日 廃止

(都留市立都留短期大學)

昭和29年9月30日 文部省へ短期大學の設置認可を申請
昭和30年2月1日 都留短期大學の設置が認可される。

二年制初等教育科 定員五十名

二年制商経科 定員五十名

昭和30年4月1日 開校

昭和32年4月1日 本年より聴講生の課程を設置する。(教

育学科六ヵ月修了、小学校二級免許状授与)

昭和36年3月31日 短期大學全課程終了廃止となる。

(卒業生・初等教育科六九七名・商経科一六七名)

都留市立都留文科大學

昭和35年1月20日 都留文科大學の設置認可される。

四年制文学部初等教育学科 定員五十名
四年制文学部国文学科 定員三十名

昭和35年4月1日 都留市立都留文科大學開校、都留文科大學付属小学校を併置する(谷村第一小学校を移管)

所在地 都留市上谷二六四番地

校地総数 七、四〇七坪

校舎総数 一、二、六九五坪

図書冊数 一六、一九八冊

昭和35年4月1日 短大に引きつづき聴講生制度併置(六ヵ月修了、小二免許取得)

小学校教諭免許状授与の課程認可

国語科教諭免許状授与の課程認可

後援会建設による付属図書館完成 移転

短期大學全課程終了廃止となる。

昭和36年3月31日 後援会建設の管理棟(七八、五坪一棟)

完工

昭和38年3月31日 聴講生制度廃止(六ヵ月修了コース)

昭和38年4月1日 付属小学校開校(谷村第一小学校プールより校舎一棟)

英文学科発足(定員五十名)

初等教育学科学生定員変更(一〇〇名)

昭和39年4月1日 付属小学校に谷村第三小学校が決定する

特別編入制度開設(初等教育学科三年次

小学校二級免許)

昭和39年7月4日 後援会所有であった図書館、ピアノ練習室、管理棟、柔道場、普通教室を市有財産として寄付採納する。

昭和39年7月23日 都留文科大學新校舎起工式

昭和39年9月1日 新校舎第一期工事着工

(一億一千九百万円)

昭和39年12月25日 新校舎上棟式挙行

昭和40年5月20日 新校舎第一期工事落成

(九四四坪)

昭和40年9月15日 新校舎第二期工事着工

工費一億三千万円

昭和41年4月1日 三学科学生定員を変更

初等教育科 一〇〇名を一六〇名

国文学科 三〇名を六〇名

英文学科 五〇名を八〇名

昭和41年8月31日 新校舎第二期工事終了 本館完成(この

前後に管理関係、図書館移転終了)

新校舎落成式挙行

図画工作兼教室移築完成(二五四坪)

柔道場移築完成

体育館移築完成

大学食堂新設工事完成

学生クラブ室移築新設完成

音楽教室移築完成(四八四坪)

桜苗木五十本をグラウンド周囲に植樹する

第一、二、三グラウンド金網柵工事着工

柔道場増築工事完成(七四平方メートル

緑町グラウンド、市に移管される。

大学管理倉庫新築(四九、五平方メートル)

生活協同組合建物新築

完成(木造二四坪)

食堂増築完成(鉄骨二六、四平方メートル)

本館前の庭園完成

本館裏の草園完成

三学科学生定員を変更

初等教育科 一六〇名を二〇〇名

国文学科 六〇名を一〇〇名

英文学科 八〇名を一〇〇名

昭和47年1月18日 体育館新築工事着工

鉄筋平家建て 一八六〇平方メートル
事業費 八千四九〇万円
昭和47年8月10日 体育館完成
昭和49年6月15日 絵画教室着工
鉄筋コンクリート二階建て

昭和50年10月13日 本館工事完成
昭和50年10月31日 落成式を挙行
施設の概要

一二四三、八平方メートル
事業費 六千九百五十万円

敷地面積 五二六三、三二平方メートル
(一五九二、一六坪)

昭和49年2月23日 工事完成
昭和50年8月1日 管理棟着工

構造規模 鉄筋コンクリート造り地上四階 塔屋一階建
建築面積 一〇五八、三五平方メートル
(三二〇、一五坪)

事業費 二五四、〇六六平方メートル
一、九八四平方メートル
三億六百万円

延床面積 三五九〇、八五平方メートル
(一〇八六、二三坪)

昭和51年5月13日 図書館新築工事着工
鉄筋コンクリート二階建て
建物総面積 一、九八四平方メートル
総工費 三億六百万円
昭和52年7月15日 工事完成

各階床面積 一階一〇〇七平方メートル
(老人福祉センター、会館事務室)
二階 九四〇、五〇平方メートル
トル
(市立図書館)
三階 九二九、五〇平方メートル
トル
(中央公民館)
四階 六四九、〇〇平方メートル
トル
(大ホール)
塔屋 六四、八五平方メートル

都留市文化会館 (都留市中央三丁目八の一)

この施設は、県の提唱するYLO会館建設の構想と、住民福祉向上に向ける市の熱意とが合致し、青少年、婦人、そしてお年寄りと、年令を問わずだれでも利用できるように、老人福祉センター、図書館、中央公民館を併設、総合センターとして総事業費七億五千万円をかけて建設したものである。

昭和49年8月19日 起工式、同日着工

建物の高さ 二〇、三〇メートル

都留市消防署 (都留市上谷二丁目一の七)

昭和22年12月 消防組織法が制定され、自治体消防制度が確立される。

昭和二年当時二十名位の有志が「葆光会」と称し、時局、教育文化の問題について研究討議し、これを実行する会を結成した。

昭和22年12月25日 谷村町消防団に常備消防本部を設け、上谷一八九番地(新町前島宅の一部)に屯所を置き、常備勤務を開始

谷村警察署の移転に当たり、武道場の払い下げを受け、大神宮に公会堂を建設し、その一室に小学校内にあった日露戦役記念図書館を移して谷村図書館と名を改め、館長に笠井治郎、幹事に宮井幾三氏が当たり、貸出しは青年団の奉仕により行なわれた。

昭和23年8月15日 下谷二番地(谷一小校庭東側)に常備消防部庁舎を新築移転
昭和23年12月8日 常備消防部を廃止し、谷村町消防本部、同消防署を設置、消防本部は、下谷二四番地谷村町役場内に、消防署は、下谷二番地に置く。

昭和29年9月18日 市立図書館を下谷二四〇番地(中町横山宅洋館)に設置
昭和34年7月1日 谷村織物協同組合を借間して移転
昭和37年5月1日 下谷一七二九―三番地職業安定所跡へ教育委員会とともに移転
昭和50年11月1日 文化会館内の市立図書館新築に伴ない移転、現在に至る。

昭和29年4月29日 町村合併促進法に基づく、都留市制施行により、都留市消防本部、都留市消防署と改称
昭和39年6月27日 上谷二一八番地(現庁舎)に木造モルタル二階建ての消防庁舎を完成し移転
昭和43年5月27日 消防本部を消防庁舎内に移転
昭和50年4月1日 道志、秋山出張所を開設、常備勤務を開始

都留市民会館 (都留市中央三丁目七の一〇)

昭和36年12月22日 工事着工(都留市下谷一七二九の一番地)
昭和38年3月31日 工事竣工
事業費 二千五六万四千円
延面積 一五五七、六平方メートル
収容能力 一、〇〇〇人
固定席 七四二席

昭和52年7月

上谷一番地(旧警察署跡地)に鉄筋コンクリート造り三階建ての庁舎建設に着工(昭和五十三年三月末日完成予定)

都留市民グラウンド (都留市法能三三三)

昭和45年10月

谷村第一中学校校舎が現在地(大野五十二番地の五)に完成し、校舎を取りこわし中学校校庭とし、また旧校庭を市民グラウンドにするための整地工事を始め、昭和46年9月に整地が完成した。

昭和47年

排水、バックネット、フェンス工事が完成

昭和48年

管理棟建設、夜間照明施設(六基、三十六灯)球技場建設工事が完成

昭和49年

テニスコート、夜間照明(三基、二十灯)入口柵、水飲場、門柱、得点板新設、変更設備工事が完成

昭和50年

クレイコート面舗装、倉庫新設工事が完成

昭和51年

プレハブ倉庫新設、整地、観覧席新設、夜間照明新設(三基十八灯)ダックアウト新設、駐車場外灯工事を完成し現在の利用に供している。

都留市尾県郷土資料館

(都留市小形山一、五六四の一)

明治11年5月5日

旧小形山村稲村神社境内に新築、開校、木造二階建て、延六十三坪と、それに半坪の望楼を建築したもので、藤村式建築

昭和16年3月31日

と呼ばれ丸型バルコニーのある立派な校舎で、小形山の人たちの誇りであった。禾生尋常高等小学校に合併のため廃校となり、小形山会館として使用

昭和45年3月30日

市文化財に指定

昭和48年11月27日

復元工事が完成し、郷土資料館として開館

昭和50年3月17日

山梨県指定文化財有形建造物として指定される。(県第三十七号)

都留市ごみ焼却場 (下谷二五二三番地)

昭和17年

谷村町営塵芥処理場を三万五千円をもって建設

昭和34年8月18日

市営ごみ焼却場を建設 建設費百万円 一日焼却量三、七五〇キロ、ごみ運搬車三輪自動車一台購入費五十万円

昭和45年3月

ごみ箱(木製)百箱を市内に設置

昭和46年10月1日

同地内に再建築完成(工事費二千五百万円、焼却量一日十五トン)

昭和46年10月1日

大月・都留衛生組合センターへ移管

大月・都留衛生組合センター

(都留市田野倉一一三〇番地)

昭和40年7月

大月・都留両市が広域行政の一環としてし尿処理施設を計画し、一部事務組合を

昭和40年9月4日

工事竣工・旧火葬場は廃止する。

敷地面積 七八〇、一平方メートル

(二三〇坪)

入口道路 延長一〇九、二メートル

巾員四、〇メートル

面積四三六、八平方メートル

建物面積 九三平方メートル(炉上屋三

六平方メートル・ホール二四

平方メートル・待合室三三平

方メートル)

炉の形式 重油バーナー炉二基

事業費 七六五万九千円

許可申請 二月十七日、許可七月十六日

東部養護老人ホーム

(北都留郡上野原町大倉三〇番地)

昭和26年4月14日

上野原町老人ホーム許可

昭和46年10月1日

東部広域市町村圏の地方公共団体である大月市・都留市・上野原町・道志村・秋

山村・丹波山村・小菅村をもって組織する組合で共同して建設し、維持管理及び

運営に関する事務を処理するため、一部

事務組合を設立

昭和48年4月1日

新築完成(3月31日認可)

市営火葬場

(都留市下谷二、五二三番地)

谷村町営火葬場を町の北部宇源生桂川べりに設置

大正8年4月8日 申請

同 4月15日 起工

同 5月21日 認可

同 5月31日 竣工

木造平家建瓦葺(石造がま一個)一五坪

工費 一千百円

昭和39年2月4日

下谷自齊地二、五二三番地に建設着工

昭和39年7月31日

中央道の着工に伴い、都留市営火葬場を

廃止

自動車教習所

昭和28年

下半期より谷村町交通安全協会により中町大神宮境内に運転者試験場を新設した。都留市立自動車運転練習場特別委員会を設置

昭和35年5月1日

旧練習場は、市立児童遊園地を設置

昭和36年3月

都留市自動車教習所完成（法能二四九三番地）敷地面積一二、五三六平方メートル 管理棟

昭和36年4月18日

事業を開始

昭和36年5月3日

第一回実地試験を実施

昭和40年9月1日

教習所コース舗装のため出張試験を中止

昭和41年1月17日

出張試験を再会

昭和43年10月1日

賃貸契約により西関東興業株式会社（代表者仁科政治）により引続いて経営し現在に至る。

谷村町公益質屋

昭和8年8月

公益質屋建設敷地に充てるため下谷三一九番の一、七十坪を所有者河口孝より買入れる。

昭和8年12月

公益質屋事務所及び倉庫を建築 事務室及び控室 木造平屋建て亜鉛鉄板葺 九、五坪 小使室及び宿直室（便所勝手共）

宅地三七坪

家屋 人造石造トタン葺二階建て本館

一棟（その他附属建物）五四、八坪

所有者 加藤喜久男

昭和13年11月1日

谷村町職業紹介所が国営となり、公会堂条例を廃止して庁舎に充用する。

谷村町共同便所

大正6年10月

下谷三九番地先（警察署向横町里道）に建設

木造瓦葺平家建一棟、間口九尺、奥行六尺、一坪五合

大正6年7月13日

申請 同年八月十六日 認可を受ける。

昭和27年

道路拡張のため廃止する。

禾生村国民健康保険組合直営診療所

昭和29年1月6日

禾生村古川渡五八〇番地に開所

昭和29年4月

禾生村と小俣良治医師と契約し、個人医院となる。

昭和40年10月

小俣医師に土地建物を譲渡する。

宝村国民健康保険組合直営診療所

昭和23年4月1日

宝村七一八番地に開所

昭和30年4月20日

国民健康保険直営診療所を、都留市で設置する条例を可決し、宝診療所は、この

木造二階建て亜鉛鉄板葺 十五坪

倉庫

木造二階建て瓦葺、外部鉄綱混凝土造り

延三十坪

工費合計 二千六百元

昭和9年4月

谷村町営公益質屋を下谷三一九番地（高尾町笠井病院前）に開設

昭和18年3月31日

昭和16年日支事変以来質物の関係と貨幣価格の下落の関係上利用者が減少したため事業を一時休止

昭和21年3月31日

公益質屋を廃止し、庁舎を谷村保健所用建物として県に寄附する。

昭和25年12月14日

公益質屋庁舎として谷村保健所庁舎の無償交付をうける。

昭和27年7月13日

貸付資金五十万円をもって事業を再開

昭和42年3月31日

事業を廃止、資金百十万円を都留市社会福祉協議会の福祉金庫に原資として積立てる。

谷村町公会堂

昭和12年3月15日

公会堂建物にあてるために左の宅地、建物を買入れる。

下谷一、七二九番地内一

宅地四四、七五坪

下谷一、七二九番地内四

条例によって設置したものとした。

昭和45年12月21日

宝診療所を廃止

都留市農村環境改善センター

（都留市十日市場一一六六の一）

昭和四十九年度から実施した農村総合整備モデル事業のうち農村環境改善センターとして、東桂出張所敷地内に建設したものである。

構造規模 鉄筋コンクリート二階建て

敷地面積 一、四〇九、〇五五平方メートル

建築面積 本館 三〇〇、一五平方メートル

倉庫 四〇、〇〇平方メートル

延床面積 本館 五四四、七〇平方メートル

倉庫 四〇、〇〇平方メートル

工事概要

設計管理 (株)ブレインズ建築設計事務所

工事期間 起工 昭和五十一年十二月二十日

竣工 昭和五十二年八月二十日

工事費

九千九百九十三千円